

飲酒検査義務化を延期 白ナンバー向け、検知器不足

日本経済新聞 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUE14AKH0U2A710C2000000/>
2022 年 7 月 14 日 20:25

警察庁は 14 日、「白ナンバー」事業者に対するアルコール検知器を使ったドライバー飲酒検査を 10 月から義務化する予定だったが、延期すると明らかにした。世界的な半導体不足などが影響して検知器が供給不足となり、メーカーが延期を要望していた。期間は未定で、警察庁の担当者は「供給状況を見ながら適切な時期に始めたい」と話している。

警察庁はパブリックコメント（意見公募）を 7 月 15 日～8 月 13 日に受け付ける。

義務化の対象は、白ナンバーを 5 台以上か、定員 11 人以上の車を 1 台以上使う事業者。3 月末時点で全国に約 35 万 2 千事業者、ドライバーは約 808 万 2 千人。アルコール検知器による検査は運転前後に実施し、記録は 1 年間保存する。

千葉県八街市で昨年 6 月、ドライバーが飲酒運転した白ナンバーのトラックに児童 5 人がはねられ死傷した事故を受け、義務化が決まった。〔共同〕

「白ナンバー」対象の飲酒検知器検査、当分延期に 機器供給不足で

朝日新聞デジタル記事 <https://www.asahi.com/articles/ASQ7G5F8QQ7GUTIL01J.html>
編集委員・吉田伸八 2022 年 7 月 14 日 16 時 21 分

「白ナンバー」の車で自社の荷物などを運ぶ事業者に義務付けられる検知器を使った運転者の飲酒検査について、警察庁は 14 日、開始時期を、予定していた「10 月 1 日」から当分の間延期する方針を決めた。検知器の製造、供給が追いつかず事業者に行き渡らない状況を考慮した。

警察庁は、義務化を延期するための道路交通法規則の付則案をまとめ、15 日から 8 月 13 日まで一般から意見を募るパブリックコメントを行う。

検知器を使う運転者の飲酒検査は、有償で人などを運ぶ「緑ナンバー」の事業者だけに義務づけられていた。だが、昨年 6 月に千葉県八街市で小学生を死傷させる事故を起こした飲酒運転のトラックは白ナンバーだった。このため警察庁は昨年 11 月に道路交通法規則を改正し、5 台以上の白ナンバーの車を使うなどの事業者の安全運転管理者に、今年 10 月から検知器による検査を義務づけることにしていた。

しかし、検知器の製造・販売業者による協議会が今年 4 月、「半導体不足などから、10 月 1 日までに市場が求める台数の確保は不可能」とする意見書を警察庁に提出。警察庁が 5～6 月に 28 道府県警の講習会に参加した安全運転管理者らに聞き取りした結果、必要台数を入手済みと答えたのは 4 割弱にとどまった。

警察庁は今後の検知器の供給状況を見ながら、義務化の時期を決めるという。

警察庁のまとめでは、安全運転管理者を選任、届け出た事業所は今年 3 月末時点で全国で約 35 万 2 千カ所、その管理下にある運転者は計約 808 万 2 千人にのぼる。(編集委員・吉田伸八)